

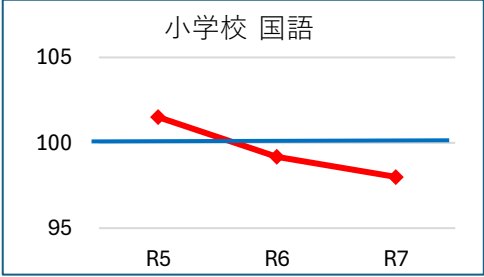
令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果分析（小学校）について

【国語】

● 平均正答率

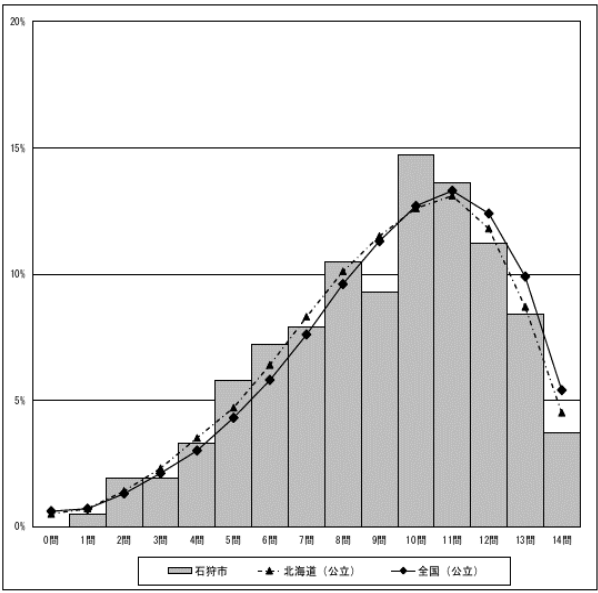
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.4/14問	66.8%	ほぼ同様下位 （－1％以下～－3％未満）
全道	9.2/14問	65.4%	同様 （±1％未満）

● 経年変化

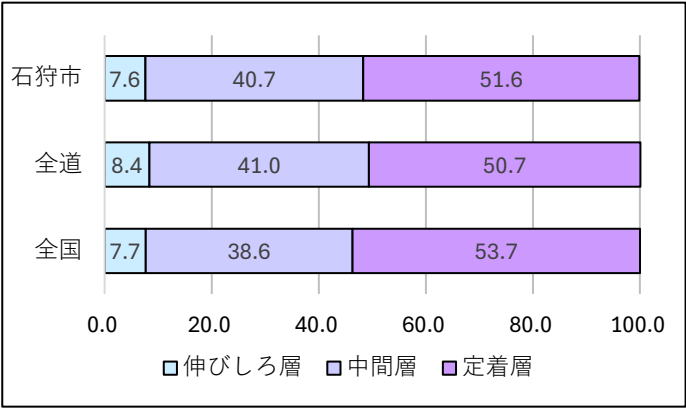


※全国平均を100とする

● 正答数分布

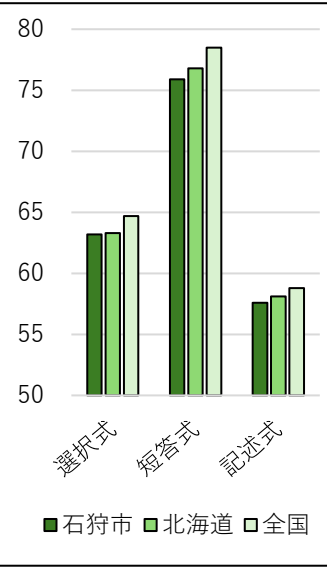
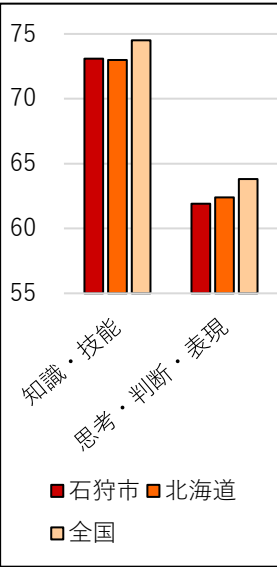
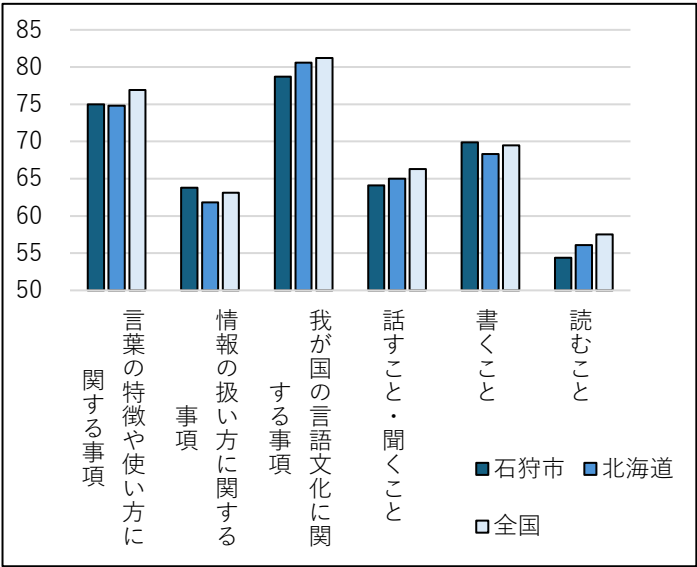


● 三層割合

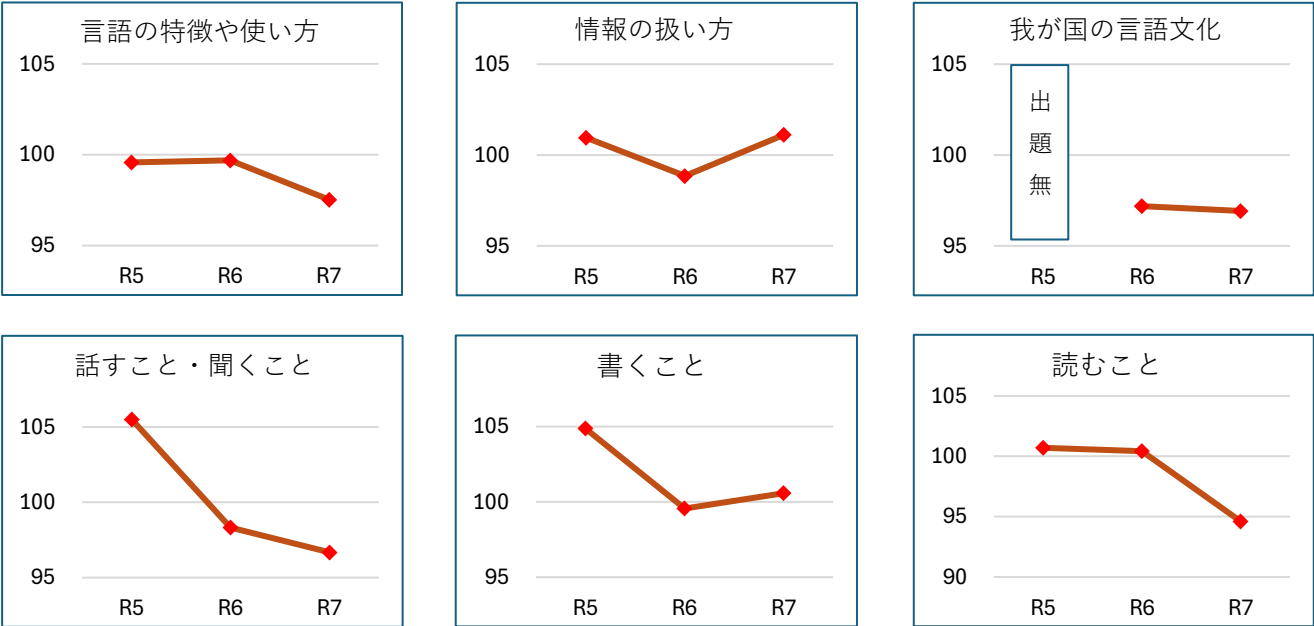


伸びしろ層：正答数0～4問
中間層：5～9問
定着層：10～14問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率



● 領域等の経年変化 ※全国平均を100とする



● 結果の概要

- ◇国語の正答率は、全国と比較するとほぼ同様（下位）で、全道と同様の結果でした。
令和6年度と比較すると、若干低下しました。
- ◇領域別「知識及び技能」についての結果です。
「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国とほぼ同様（下位）、全道と同様
「情報の扱い方に関する事項」は、全国と同様、全道とほぼ同様（上位）
「我が国の言語文化に関する事項」は、全国、全道ともにほぼ同様（下位）
- ◇領域別「思考力、判断力、表現力等」についての結果です。
「話すこと・聞くこと」は全国とほぼ同様（下位）、全道と同様
「書くこと」は、全国と同様、全道とほぼ同様（上位）
「読むこと」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」「短答式」「記述式」ともには全国とほぼ同様（下位）、全道と同様となりました。

● 調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

（例）

- 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。
- 【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。
- 【ちらし】の中の一文中、【調べたこと】を基に詳しく書く。
- 言葉の変化について、自分が納得したこととその理由をまとめて書く。
- 設問数は14問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
2 四ア	【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	84.8	81.6	81.6
2 二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	書くこと	80.4	80.2	81.8
1 三 (2)	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部イのように発言した理由として適切なものを選択する	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	75.0	72.6	73.7

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
1 一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	47.4	53.3	-5.9
2 四イ	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す (あつい日)	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す (あつい日)	言葉の特徴や使い方に関する事項	65.2	72.1	-6.9
3 二 (2)	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる	読むこと	47.0	51.3	-4.3

● 指導の改善

【問題番号 1 一 話すこと・聞くこと】

- 伝え合う内容を検討する際、聞くことにおいては、目的や意図に応じて、聞くことを具体的に考え、関係する材料を整理しておくことが重要です。
- ・指導に当たっては、知りたいことについて、自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりすることが大切です。また、知りたいことを聞くという目的に加えて、相手の答えを予想したり、予想した答えと関連して聞きたいことを考えたりするなど、聞くときの場面や状況を意識することも大切です。

【問題番号 2 四イ 言葉の特徴や使い方に関する事項】

- 漢字を書くことについては、当該学年の前の学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うようにすることが重要です。
- ・指導に当たっては、書く目的や意図に応じて自分の思いや考えを伝えるためにも適切に漢字を使い分ける力が身に付くようにすることが大切です。特に今後は、端末を使って文章を書く機会が増えることも予想されます。そのため、同音異義語から文章に合う漢字を選ぶ力を付けていくことも大切です。

【問題番号 3 二（2） 読むこと】

- 要旨とは、書き手が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、書き手の考えの中心となる事柄などです。要旨を把握するためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが重要です。
- ・指導に当たっては、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉えることができるよう指導することが必要です。

● 国語に関する意識調査（児童質問調査項目44～51、国1より）

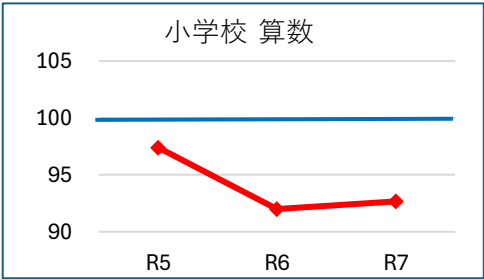
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
44	国語の勉強は得意ですか	64.2	61.4	2.8
45	国語の勉強は好きですか	66.0	58.3	7.7
46	国語の授業内容はよく分かりますか	83.1	82.8	0.3
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.7	90.4	-0.7
48	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	82.2	78.2	4.0
49	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	81.7	75.5	6.2
50	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	83.6	81.8	1.8
51	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか	82.0	79.1	2.9
国1	「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	85.1	81.7	3.4
	2問あった記述式問題の無解答率の平均	7.9	10.6	-2.7

【算数】

● 平均正答率

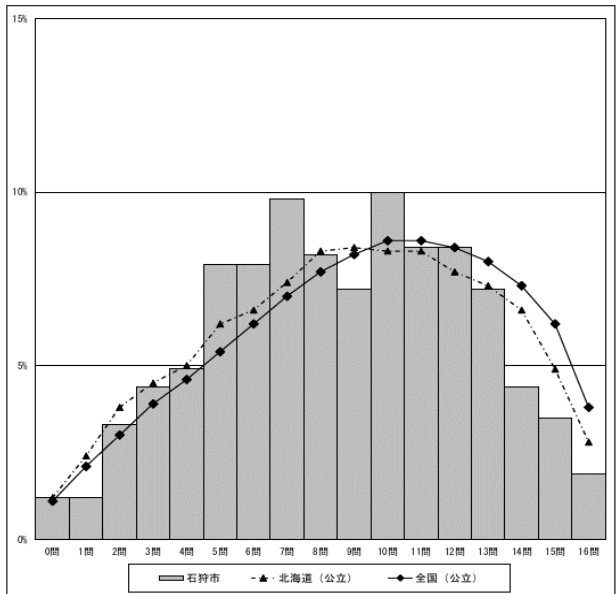
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.3/16問	58.0%	やや低い （－3％以下～－5％未満）
全道	8.8/16問	55.2%	ほぼ同様下位 （－1％以下～－3％未満）

● 経年変化

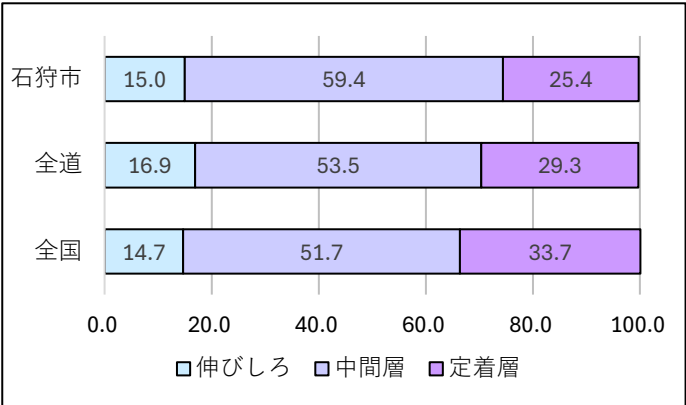


※全国平均を100とする

● 正答数分布



● 三層割合

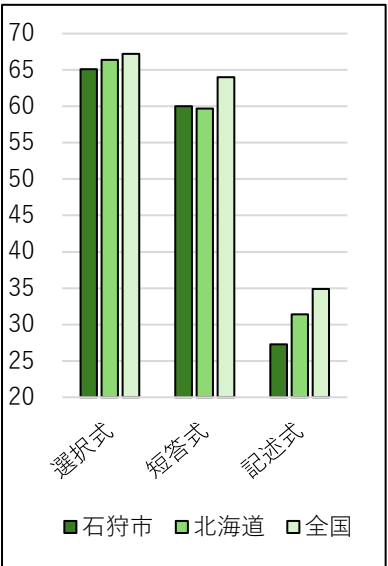
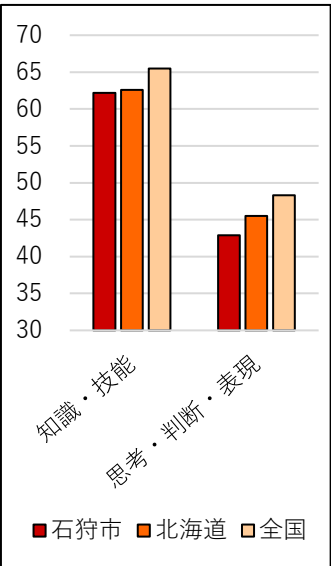
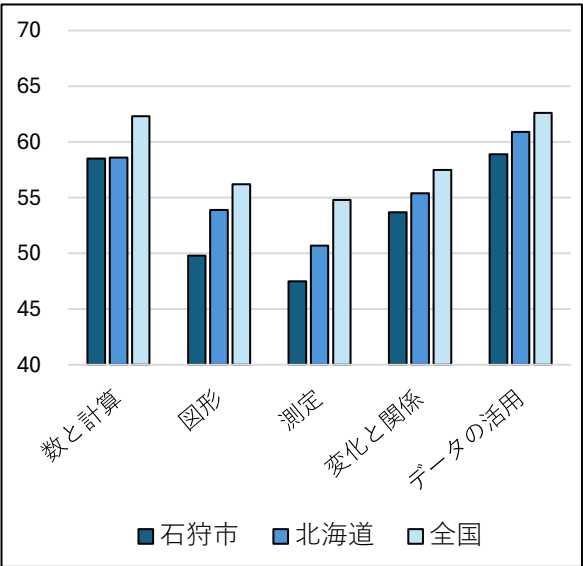


伸びしろ層：正答数0～4問

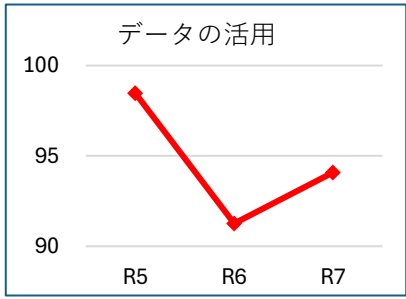
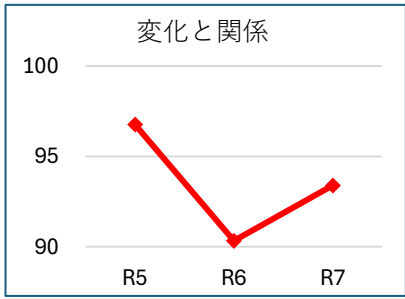
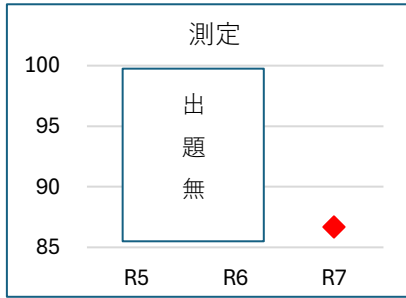
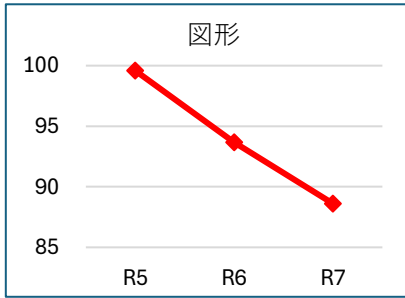
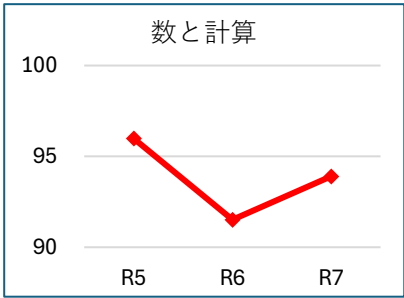
中間層：5～11問

定着層：12～16問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率



● 領域等の経年変化 ※全国平均を100とする



● 結果の概要

◇算数の平均正答率は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。令和6年度との比較では、全国との差が若干縮みました。

◇領域別では、「数と計算」は全国よりやや低い、全道と同様、「図形」は全国より低い、全道よりやや低い、「測定」は全国より相当低く、全道よりやや低い、「変化と関係」と「データの活用」は全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）という結果でした。

◇問題形式の正答率では、「選択式」は全国、全道ともにほぼ同様（下位）、「短答式」は全国よりやや低い、全道と同様、「記述式」は全国より相当低い、全道よりやや低いという結果でした。

● 調査問題の内容

学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

（例）

- $0.4 + 0.05$ について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く。
- 方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ。
- 10%増量した詰め替え用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ。
- 都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く。
- 設問数は16問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
1 (1)	2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の全国のブロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる	数と計算	83.6	77.1	78.7
2 (3)	角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ	角の大きさについて理解しているかどうかをみる	図形	79.0	76.8	79.3
3 (4)	$1 \div 2 + 1 \div 3$ を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる	数と計算	79.4	73.0	81.3

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
2 (2)	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形	38.1	50.2	-12.1
2 (4)	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	図形	27.6	37.0	-9.4
4 (2)	使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	数と計算 測定 変化と関係 データの活用	38.8	48.7	-9.9

● 指導の改善

【問題番号 2（2）図形】

- 図形の置き方をいろいろと変えても、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して、図形を弁別できるようにすることが重要です。
- ・指導に当たっては、例えば、置き方をいろいろと変えて示された幾つかの四角形の中から台形を弁別し、その理由を説明する活動が考えられます。その際、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に弁別した理由を説明することで、置き方をいろいろと変えても図形の性質は変わらないことを理解できるようにすることが大切です。

【問題番号 2（4）図形】

- 多角形の面積を求める際に、基本図形に分割するなど、面積の求め方を知っている既習の図形を見い出して、面積の求め方を考えることができるようにすることが重要です。
- ・指導に当たっては、例えば、本設問のように、方眼上の五角形の面積を求める活動が考えられます。その際、五角形を分割すれば面積を求められるのではないかといった方法の見通しをもつことができるようにすることが大切です。図形を分割する際、幾つかの図形に分割してから面積を求めることができるかどうかを考える場合や、面積を求めることができるかどうかを考えながら基本図形に分割しようとする場合があると想定されます。どちらの場合でも、どのような図形に分割したのかを明らかにして、分割した図形の面積を求めるために必要な辺の長さなどを捉え、その図形の面積を求めることができるようにすることが大切です。その上で、五角形の面積の求め方を式や言葉を用いて表し、説明できるようにすることが大切です。

【問題番号 4（2）数と計算 測定 変化と関係 データの活用】

- 日常生活の問題を解決するために、複数の情報から場面に基づいて必要な数量を見いだし、それらの数量の関係を捉えるとともに、その関係を式や言葉の式に表現できるようにすることが重要です。
- ・指導に当たっては、例えば、本設問のように、使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るために、液体の量の代わりに用いることができる数量を見いだす活動が考えられます。その際、使いかけのハンドソープを提示し、ラベルに書いてある新品の場合の液体の量についての情報が使えないことを確認するとともに、「液体の量が分からないとき、空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、何を調べればよいですか。」などと問いかけ、液体の量の代わりとして重さに着目することに気付くことができるようにすることが大切です。

● 算数に関する意識調査（児童質問調査項目52～59、算1より）

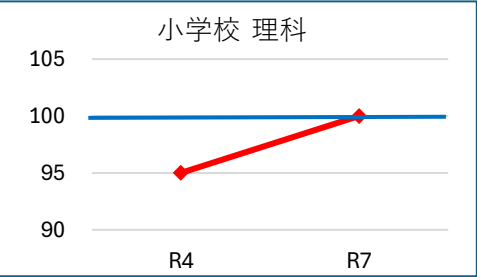
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
52	算数の勉強は得意ですか	53.5	60.3	-6.8
53	算数の勉強は好きですか	49.6	57.9	-8.3
54	算数の授業内容はよく分かりますか	74.8	78.3	-3.5
55	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.5	91.6	-1.1
56	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	80.8	83.3	-2.5
57	算数の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	81.4	82.3	-0.9
58	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	72.2	65.5	6.7
59	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	81.5	80.6	0.9
算1	「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	79.1	74.5	4.6
	4問あった記述式問題の無解答率の平均	4.6	5.7	-1.1

【理 科】

● 平均正答率

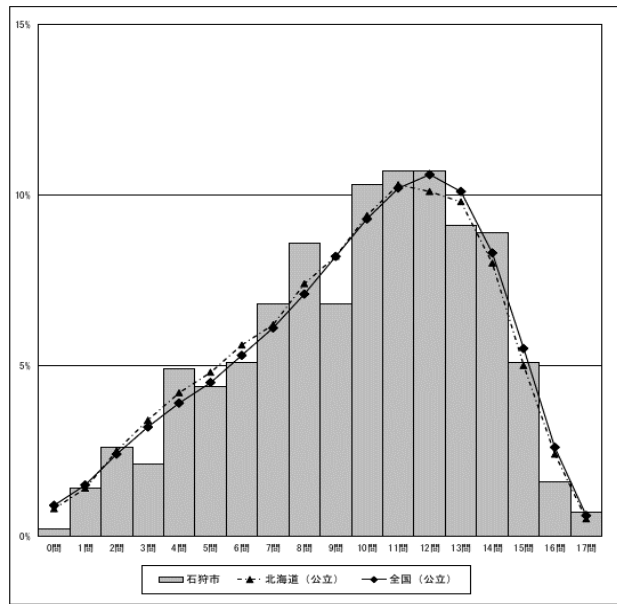
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.7/17問	57.1%	同様 （± 1 %未満）
全道	9.6/17問	56.3%	同様 （± 1 %未満）

● 経年変化

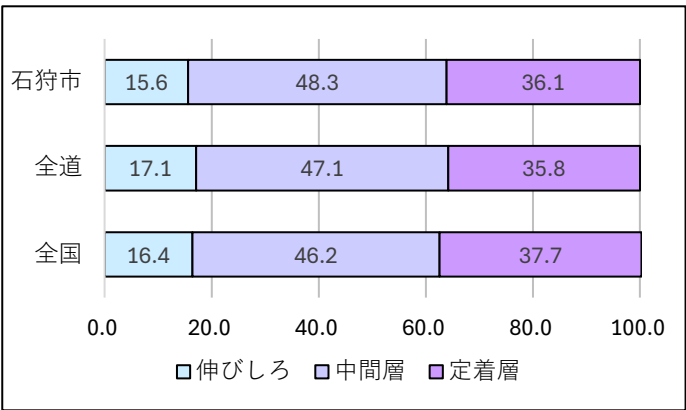


※全国平均を100とする

● 正答数分布

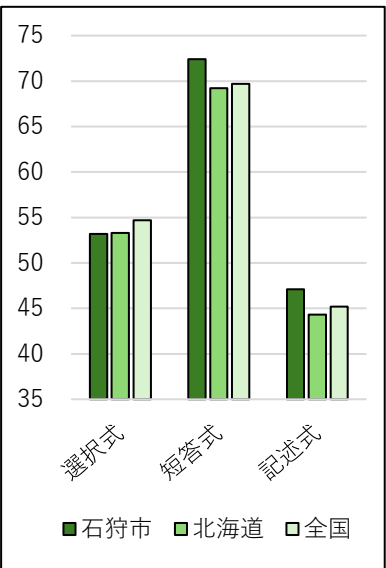
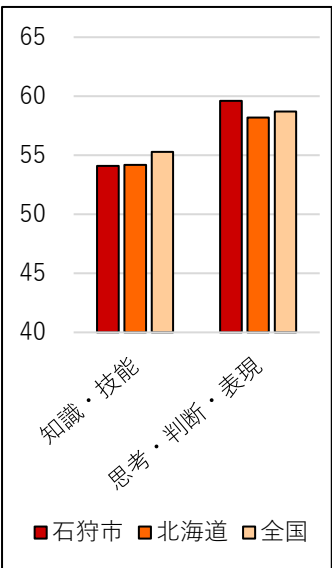
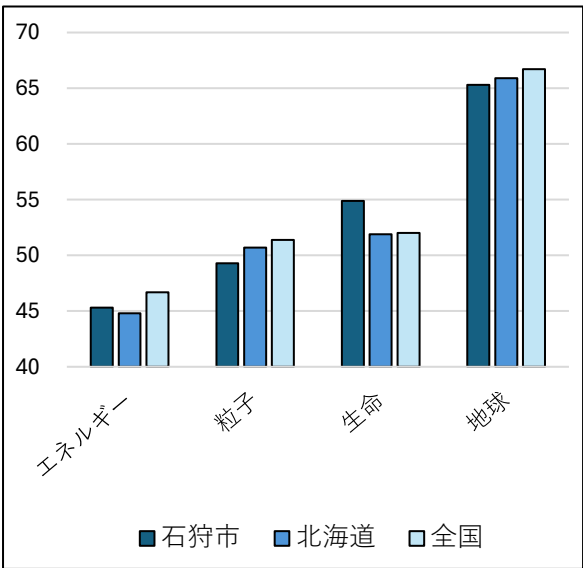


● 三層割合

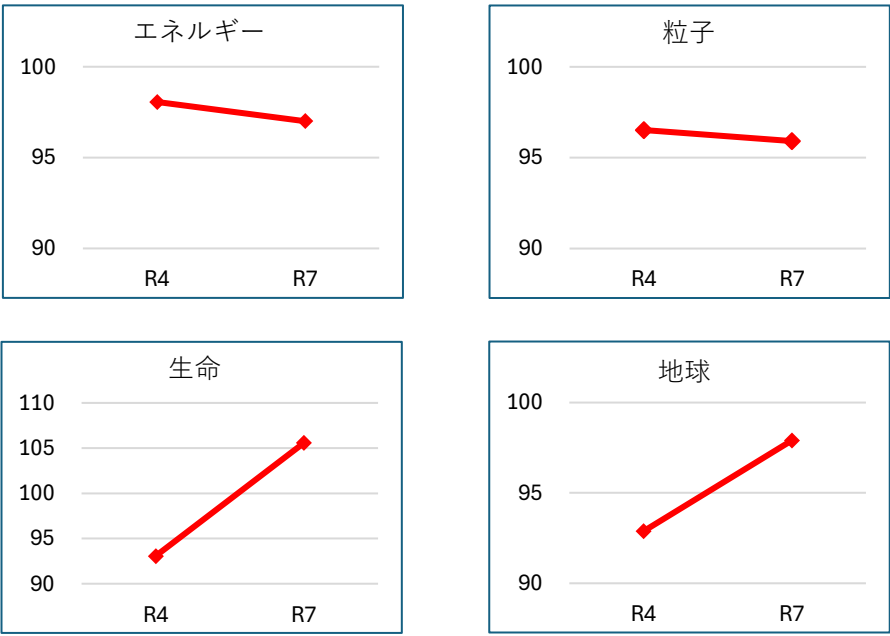


伸びしろ層：正答数 0～5 問
中間層：6～11 問
定着層：12～17 問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率



● 領域等の経年変化 ※全国平均を100とする



● 結果の概要

◇理科の平均正答率は、全国、全道と同様の結果でした。令和4年度との比較では、大きく上昇し全国との差がなくなりました。

◇領域別では、「エネルギー」は全国とほぼ同様（下位）、全道と同様、「粒子」は全国、全道とほぼ同様（下位）、「生命」は全国とほぼ同様（上位）、全道よりやや高い、「地球」は、全国とほぼ同様（下位）、全道と同様という結果でした。

◇問題形式の正答率では、「選択式」で全国とほぼ同様（下位）、全道と同様、「短答式」は全国とほぼ同様（上位）、全道よりやや高い、「記述式」は全国、全道とほぼ同様という結果でした。

● 調査問題の内容

学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、「A物質・エネルギー」、「B生命・地球」の二つの内容区分から、バランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となるようにしています。

(例)

- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を基にして書く。
- 乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ。
- ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ。
- 水の温まり方について、問題を解決するために適切な方法を検討し、その方法を書く。
- 設問数は17問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	北海道	全国
1 (1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる	地球	83.2	79.9	79.5
1 (3)	【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる	地球	75.5	76.5	77.8
2 (3)	ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く	電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる	エネルギー	76.7	75.8	78.0
3 (1)	ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる	生命	73.4	68.5	70.7

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率%		
				石狩市	全国	全国との差
4 (2) イウ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	粒子 地球	59.0	64.2	-5.2
4 (2) エオ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	粒子 地球	51.7	57.5	-5.8

● 指導の改善

【問題番号 4（2） イウ・エオ 粒子 地球】				
○習得した個別の知識を概念的に理解するためには、学習内容を他の学習や生活と関連付けることが大切です。				
・指導に当たっては、知識を関連付けてより深く理解するために、加熱をしなくても水が蒸発する場面を生活の中から探したり、低い温度で水が蒸発する場面と沸騰で蒸発する場面との差異点や共通点を整理したりすることを通して、水の状態変化について概念的に理解していくような指導が考えられます。				

● 理科に関する意識調査（児童質問調査項目60～70、理1より）

質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
60	理科の勉強は得意ですか	83.8	78.4	5.4
61	理科の勉強は好きですか	80.6	80.1	0.5
62	理科の授業内容はよく分かりますか	88.3	88.9	-0.6
63	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.1	79.9	-0.8
64	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	28.0	30.0	-2.0
65	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか	61.1	63.2	-2.1
66	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	67.0	68.9	-1.9
67	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	96.0	92.4	3.6
68	理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	90.0	85.7	4.3
69	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	91.3	88.4	2.9
70	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	82.2	76.0	6.2
理1	「今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	87.6	81.8	5.8
	2問あった記述式問題の無解答率の平均	5.9	10.0	-4.1